

2019年度 後期授業評価アンケート 顕彰科目担当教員コメント

教員名	澤野純一
顕彰科目名	相談援助演習 I 8
<p>●授業運営において工夫されている点</p> <p>本科目は、実習の準備科目である性質上、社会福祉の「理論」の重要性は無論のこと、それに加えて「実践」について、言葉を変えれば「いかに現場に学んでいくか」という側面が大変重要になって来ると思います。更に、実際の支援を展開する上で、利用者(ご本人)・ご家族に対する理解がいかに大切であるか、というテーマがあると考えています。</p> <p>以上の様な問題意識を持った上で、体験学習やロールプレイ、事例検討などを行う中で、それぞれの学生がいかに自分の頭で考え、自分の心で感じられるかということに注意を払っています。学生が現場での支援の実際を絵空事ではなく、リアルな事柄として感じ、かつ考えることが出来るように工夫努力する様にしています。</p> <p>世の中には様々な価値観や考えがあるということを前提として、社会福祉の利用者(ご本人)・ご家族も様々な価値観や考えを持っておられることを理解し、学生自身の価値観・考えと照らし合わせながら、社会福祉の理念・理論・価値観に対する理解を深めてもらいたいと思っています。</p> <p>●今後取り組んでいこうと考えておられることなど</p> <p>社会福祉の現場での支援の実際は決して生やさしいものではありませんが、支援の仕事の醍醐味や魅力、面白さがあること、支援の仕事は極めて奥が深いものであることは確かな事実です。それらの事柄についていかに学生に伝えていくかが常に変わらない課題です。その為に、更なる講義の工夫・教材の工夫に加え、支援の現場のリアルな声を伝える工夫を行い、学生が少しでも社会福祉の仕事・支援の仕事の魅力に気付いていけるようにしていきたいと思います。</p> <p>講義の中でひとりひとりの学生がそれぞれの可能性を持っているものと感じています。学生ひとりひとりの個性・特性に応じた取り組みを行っていきたいと考えます。</p>	